

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~6日	3月 ~13日	3月 ~20日	3月 ~27日	4月 ~3日	4月 ~10日	4月 ~17日	4月 ~24日	5月 ~1日	5月 ~8日	5月 ~15日	5月 ~22日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	11	7	12	13	17	19	18	15	6	10	23	10
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	11	12	3	11	9	23	16	14	20	7	17 (20)	12
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	1	1	3	2	1	2	1	1	3	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	6	6	8	5	1	8	7	4	4	5	5 (6)	6
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	3	4	2	0	5	2	3	9	7	6	4 (5)	6
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	0	1	3	3	0	1	1	0	0	0	0	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第20週(5月16日~5月22日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			2	1	1	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	6	日本紅斑熱	3			1			1	1
		レジオネラ症	3	1				1		1
五類	15	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		急性弛緩性麻痺	1					1		
		急性脳炎	1					1		
		梅毒	12			1		11		
新型コロナウイルス感染症	8,028	新型コロナウイルス感染症	8,028	973	476	373	140	4,391	612	1,063

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第20週に4,391件の報告があり、多い状況が続いています。重症化リスクが高い60歳以上の感染者数は、3、4月は比較的低い水準で推移していましたが、ゴールデンウィーク以降増加しており注意が必要です。

基本的な感染対策に加えて、体調不良時の外出自粛、検査の積極的受検など一人一人が対策を徹底することが大切です。

2 梅毒

11件の報告があり、今年の累計は105件となりました。感染症法施行後の年間最多件数(2018年、2021年)に5ヵ月足らずで並び、非常に多い状況が続いています。

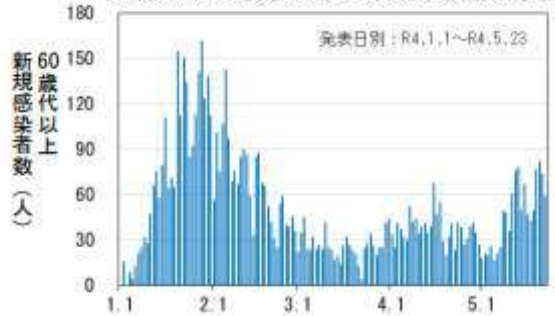
梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】保健センターの無料・匿名の梅毒検査
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>

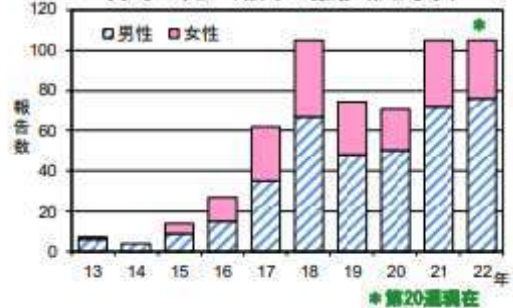
3 感染性胃腸炎

定点当たり6.50人の報告があり、増加傾向です。

新型コロナウイルス感染症
 60歳代以上新規感染者数の推移(広島市)



梅毒の発生動向の推移(広島市)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ファイルン	インフルエンザ	-	-	0.07		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.23	
小児科	咽頭結膜熱	10	0.42	0.61		眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.31	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.54	1.84			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	156	6.50	5.69	▲	基幹	流行性角結膜炎	5	0.63	0.55	
	水痘	2	0.08	0.10			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	16	0.67	1.10	▲		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.12			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	7	0.29	0.31			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.21			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.14	

急増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▲	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	37	20歳代・推定感染地域: 国外
4	レジオネラ症	1	10	70歳代
5	急性弛緩性麻痺	1	1	10歳未満
5	急性脳炎	1	3	10歳未満
5	梅毒	11	105	20歳代・5人、30歳代・1人、40歳代・3人、50歳代・2人